

# みんなちがって、みんないい

第2号 H.22.7

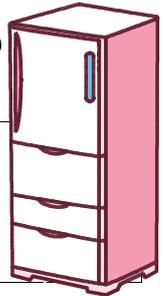
皆与志養護学校 地域支援部

## 今回のテーマ

- 同時処理と継次処理って、ご存じですか？
- それで、学習にどんな意味を持つの？



あなたは、昨日の夕食で何を食べましたか？  
全部、思い出してから読み進めてください。



え〜と。テーブルの上にご飯とその横にサラダがあって冷や奴とひじきがあった。あと・・・、鳥の煮物があった！

え〜と。帰ってすぐ、冷蔵庫を開け挽肉を解凍して・・・。あっ、ハンバーグだ。それにポテトサラダをつけて、あとご飯と味噌汁だった。

### あなたは、どちらのタイプで思い出した？

食卓の上に出ていたものを映像的に思い出した

時間の流れに沿って作った順番で思い出した

#### 同時処理的認知様式

ア全体をふまえた教え方  
イ全体から部分への方向性をふまえた教え方  
ウ関連性をふまえた教え方  
エ視覚的・運動的の手がかりの重視  
オ空間的・統合的要因の重視

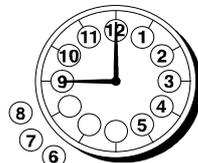
人間が外界から情報刺激を入力し、脳の中枢で情報を認知的に処理して、出力（運動）する過程を「認知処理様式」とよびます。私たちは、そのスタイルを状況に応じて使い分けたり組み合わせたりして、処理しています。発達障害の状態像として、この認知処理様式のどちらかに偏ってしまうことがあります。指導者が自分の習得した「指導方略」で画一的に子供に適用すると、子供の「学習方略」とあわない場合、子供は習得しにくくなることとなります。この特性は、WISC-IIIやK-ABC等の検査で、見えてきます。

#### 継次処理的認知様式

ア段階的な考え方  
イ部分から全体への方向性をふまえた教え方  
ウ順序性をふまえた教え方  
エ聴覚的・言語的の手がかりの重視  
オ時間的・分析的要因の重視

小学校低学年で、『時計』の単元があります。さて、子供の認知処理様式を考慮し、どのような指導方略を考えますか？

- ① ダンボール等で作った時計を提示する。（長針・短針は色を変える）
- ② 数字、短針、長針を分解させる。
- ③ 数字を元の位置に戻しながら時間を教える。



- ④ 1分ごとの目盛りを記入させ、1時間が60分であることを気づかせる。
- ⑤ かけ算の5の段を使って、分を教える。
- ⑥ 短針をつけて（割ピン等）、〇時の読み取りをする。
- ⑦ 長針をつけて、短針との関係をふまえて分の読み取りをする。
- ⑧ 既製の学習用時計に移行し、読み取りを徹底する。
- ⑨ 時計に針を記入する学習を繰り返す。



- ① 既製の学習用時計を使って、短針の読みから教える。
- ② さらに1分刻みで針を動かし、1時間が60分であることを読み取らせる。

- ③ 長針の読みをかけ算の5の段を使って分を教える。
  - ④ 30分の時の短針の位置に気づかせる。
  - ⑤ 時刻の読み取りや針の記入を練習する。
- ※ ともに、生活と関連づけて時刻や時間の感覚を身につけさせ、活用を広げていく。

※ 子供のつまづきには、様々な背景要因が考えられます。一つの視点として参考になればと思います。